

Title	英国に於ける小農場運動の発展と戦後の土地政策 (二)
Sub Title	
Author	三邊, 金蔵
Publisher	慶應義塾理財学会
Publication year	1917
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.11, No.3 (1917. 3) ,p.369(51)- 376(58)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	論説
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19170301-0051

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

中に於て『Sorbonne』の破滅以後現今存在する最も幻想的として且つ驕傲なる人々の團體』と稱したる Physiocrates の中心思想も斯く論じ來れば決して一時の幻想にあらず、對岸の英國に發生したる經濟思想の潮が佛國の岸を洗ひて其特殊の經濟事情に激し、俄に冲天の怒濤と爲れるに過ぎざるものなり。

(大正六、二、十五)。

英國に於ける小農場運動の發展と

戦後の土地政策(二)

三 邊 金 藏

然れども以上は素より大體の上より觀察したるものに外ならざるが故に、經營法の變遷と經營面積の變遷との間に存する關係を如實に立證する上に於ては、固より十分ならずと謂ふ可き其上に、據りて以て小農場の將來を卜する基礎となさんには、又た餘りに薄弱なるやの感あり。因て更らに各種農場の地理的分布の狀態を釋ねて、別個の方面より叙上の所言を且つは補足し且つは固うせんに、以上の期間に於て大農場の面積減少せること最も少きは僅かに八分の喪失を見たる英蘭東北部に位する諸地方にして、一割強の喪失を見たる東部中央地方は其次に位し、東南地方及西北地方は最大減少率を示して、前者は一割七分、後者は一割九分強

に上るを見る。中農場の面積は一般に増加せること既に述べたるが如くなれども、其中に就ても東北諸地方は最大増加率を示して八分四厘の増加を見たるに對し、東南地方及西北地方は夫れ〱に二分一厘及二分二厘なる僅少の増加を示すに過ぎずとす。小農場は全體の上より概観すれば、農場數に於て減少し面積に於て増加したる結果となること既述の如くなるが、地方別にして仔細に之を見れば、或は農場數も經營面積も共に減少したる處あり、或は農場數減じて經營面積増加したる處あり、或は農場數及經營面積の兩つながら増加したる處ありと云ふ可き次第にて、其趨勢は各地方の間に於て各々相異り必ずしも一樣の方向を取らざるなり。左記の數字は即ち之を明かにするものとす。

小農場數		同上經營面積	
西北地方	(減) 三、三〇四	(減) 二二、八九七	エーカー
北 部 地 方	(減) 二、二二三	(増) 一一、六二八	
東 北 地 方	(同) 一、三七四	(同) 九、九〇〇	
東 部 中 央	(同) 九〇四	(同) 一三、七一七	
東 南 地 方	(増) 一、九六三	(増) 六三、五八二	
西 部 中 央	(同) 一、二九一	(同) 四五、七九八	

依是觀之、西北地方に在りては、小農場の小なるものは其大なるものに併合せら

れ、小農場の大なるものゝ一部は斯く併合することに因りて小農場たる域より脱して中農場の範圍に移りたる形跡ありと推するを得可く、北部、東北部、東部中央の諸地方に在りては、小農場の小なるもの衰えて其大なるもの之に代りて興りつゝありと謂ふを得可く、東南及西部中央の兩地方に在りては小農場一般に勃興しつゝありと稱するを得可し。而して是を前記大、中兩農場の推移と合せ考ふれば、更らに大體に於て東北諸地方及東部中央地方は各種農場の大なるものゝ割據地たり、西北地方は中農場及小農場の大なるものゝ割據地たり、東南地方及西部中央地方は小農場の割據地たりと推定するを得可し。

然るに他方に於て、ヘルマン・レヴィ氏其他が各種の材料に據りて推斷するところによれば、東北部及東部中央の諸地方に於ては穀作農今猶ほ優勢を占め、西北地方に於ては飼畜業優勢を占め、東南地方及西部中央地方に於ては蔬菜、果實の栽培及製酪業優勢を占むるの實ありと云ふが故に、結局大農場は穀作と中農場は飼畜と小農場は蔬菜、果實の栽培及製酪と互に相俟つの關係に在りと謂ふを得可し。即ち吾人が經營法の變遷と經營面積の變遷との間に密接なる關係ありと説ける

ことの空言にあらざるを證するものなるが、此點一度明かなるに於ては更らに一歩を進めて、小農場は果實、蔬菜、牛乳、乾酪等に對する需用の増大するに連れて復活し來り、今後亦た發達するの餘地を有すと立言するを得可し。而して近時の小農場運動は恰かも此機運に沿ふて進むものなるが故に、假令其前途には後に述ぶるが如き幾多の困難の横はるものありと雖も、之を舊時の小農場運動の如く時勢に逆行して進めるものに比較するときは、難易成否の差に於て寔に日を同ふして語る可からざるものあるを見るなり。

次に第二の相違點も亦た新舊兩小農場運動の成否を分つ重大なる一要素をなすものなるが故に、簡單に之を説明するの必要ありとして、先づ舊時の小農場運動が當時に於ける志士仁人の運動たるに止まりしは何故なりや、其理由如何と討ぬるに、當時に於ける小農場の崩解は漸を以て其次ぎたるものにして、同時に同じ運命に呪はるゝ者は互に其所在地を異にし、従つて相集つて一團をなし、團隊の力に據りて彼等の爲めに警世の叫を擧げて嚮導する者を支持し、是と相響應して世人を動かすの途に出づこと能はず、終に志士仁人折角の努力をして空しく踊る者なきに笛吹くの類たるに了らしめたるものなり。而して勞働者の爲に三エーカー

の土地と一頭の牝牛とを供ふ可しとの社會政策的主張は、一八一九年の救貧法に由りて或程度まで承認せられ、一八三二年の改正救貧法に依りて更らに擴張せられたれども、一八三四年の法律に依り救貧法施行の權が、救貧法委員の手より離れて救貧法執行官の掌裡に歸するに及びて、却て實際の運用を見ざるに至れり、蓋し雇主たる農夫は之に依りて勞働者が餘りに獨立的地位を占め、従つて勞働者としての勤勉を缺かんことを懼れ、商店主は勞働者自ら日用品を産生するに至れば、其程度に於て自己商品に對する需用減少を見る結果とならんことを懼れ、從來勞働者を最大顧客とせる旅館主は、又た之に因りに營業上に打撃を蒙らんことを懼れ、三者相結びて教會委員會の決議を動かしたるに反し、此處に議席を有せざる勞働者は自己の叫を有効に聽かしむるの手段方法を缺如せるが爲め、是に對抗する能はずして終に事の此處に至るを見たるものなり。即ち何れに就て之を見るも、舊時の小農場運動が志士仁人の支持するところたるに止まりたる其理由は、直接の利害關係者なる小農場主及勞働者に、自己の立場を有力に主張する勢力なく、權力

なかりし其間の事情に伏在すと謂はざる可からざる次第なるが、近時の小農場運動は此點に於て全く其趣を異にし、識者が此方面に對して試むる計畫努力の背面には、勞働者の政治的團隊的權力常に伏在して、之を支持し促進しつゝあるの實を見るなり、而して其斯くの如き情勢を齎らせる原因は、一八六七年及一八八四年の選舉法改正に因り、初には工業勞働者、次には農業勞働者、選舉權を獲得し政治上の一大勢力となれる其事實に存するものにして、近時の小農場運動が此頃よりして頓みに勢力を加へ來れるの實あるは、他の事情の大に之を助くるものありたるは勿論なれども、明かに之を立證するものと謂ふ可し。

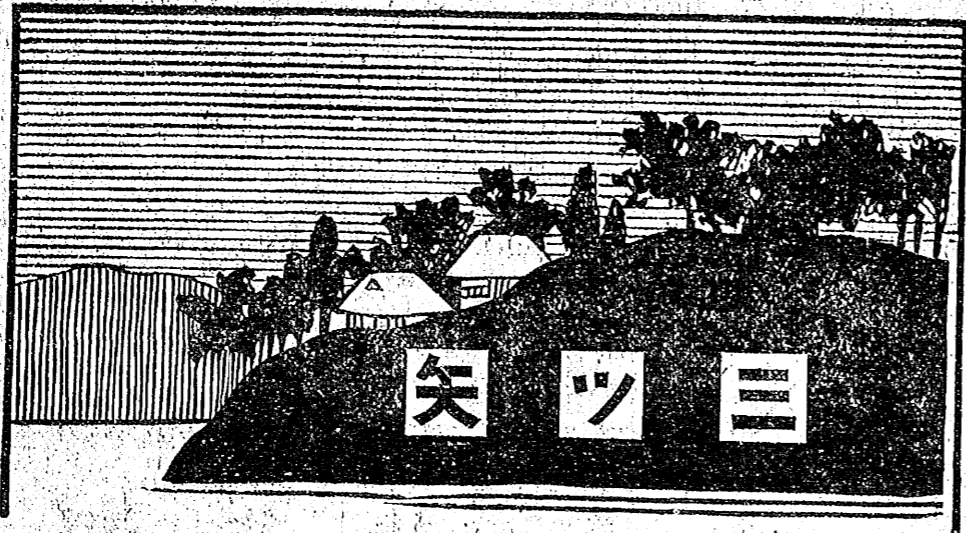
然らば第三の相違點は如何なる事情の下に其發生を見たるや。郷士コマンを以て社會の中堅階級を形くる者なりと斷じ「所有の魔術は砂を化して黄金と成す」(The magic of property turns sand into gold)といへるヤングの言を採つて、直ちに其信仰個條となせる舊時の小農場論者が、自作農の維持又は復興を以て其運動の目的となせるは事理當然の結果なりと謂ふ可きなれば、此點の説明は此處に之を加ふるの要なしとして、近時の小農場運動が寧ろ子作農の維持増加を以て其目的の中心點に

置かんとするに至りたる其間の事情を討究せんに、元來小農場の賣買價格は、需用の數供給に勝るの關係より、何れの國に在りても、其收益價值以上に出づる傾向を有するものなるが、英國に在りては此事情に加ふるに、地主階級に屬することを以て、社會の上流に位し世間の威望を收めんとする者に必要缺く可かざる一要素たりとなすの風今猶存在し、此點より更らに小農場の供給を制限するものあるが故に此傾向殊に著しく、従つて農業經營を目的として斯る土地を買入取得せんことは、損益の計算上何人も到底爲し得ざるところに屬す。而して又假令斯る障礙なしとするも、自己の有する少許の資本を土地買入の爲めに費し、經營資本を減少せんことは、小農場希望者の甚しく不利を感じるところにして、彼等は其有てる資本を可及的多く經營資本の形に於て活用せんことを望むの風あり。一農夫が Acland 氏を委員長とせる土地調査委員會の質問に答へて「彼等は其資本を土地へ放、下、せんことを欲すれども是を土地に沈、む、ることを願はず (They want their capital invested on the land, but do not wish to sink it in the land) と言へるは、此間の消息を喝破して措辭の巧妙を極めたるものなるなり。次ぎに相續の際に生ずる所謂相續分賠

償の困難も亦た、兒孫の爲めに慮る者をして農場買入を躊躇せしむる一因にして、現に一老農夫の如きは此點に關する配慮より其有てる小農場を賣却し換へて得たる代金を以てより、大なる農場を子作するの策に出でたりと謂ふ。「兒孫の爲めに美田を買はず」とは寔に斯くの如きを謂ふ可き乎。

乃ち以上を一括して之を言へば、近時の小農場運動が自作農の増加を目的とせずして、子作農の増加を目的とする所以は、小農場希望者に於て自作農たらんことを希望せずして子作農たらんことを望む其結果たりと謂ふ可く、而して其然る所以は、一つは彼等の理知發達して利害の打算精細緻密になりたると、他の一つは英國特有の事情之を促すものあるとに基く其結果に外ならずと謂ふ可きなり。

(む望を記附御旨る依に告廣誌雜會學田三は節の文注御へ主告廣)



サイダー
平野水
紀念飲料
コローナ

三ツ矢の三大特色

- 一 御料品製造の特別なる恩命を拜受せる事
 - 一 天然炭酸瓦斯の純良にして豊富なる天然炭酸瓦斯噴出する事
 - 一 胃腸、糖尿、腎臟、氣管、婦人病に特效ある
- 以上三大特色は他の清涼飲料水にはありませぬ

三ツ矢サイダー製造元
三ツ矢平野水

帝國鑛泉株式會社